

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度吉城高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年10月4日(月) 14:30～15:45
- 3 開催場所 吉城高校 会議室
- 4 参加者

委員長	柴田 駿一	吉城高校同窓会長
副委員長	沖畑 康子	飛騨市教育長
委員	川上 佳洋	宇宙まるごと創生塾飛騨アカデミー理事長
	渡邊 正憲	(株)飛騨ダイキャスト代表取締役
	石原 典子	元民生委員(主婦)
	北村 淳子	(有)まるじん役員
	岩原 明生	飛騨古川青年会議所理事長
	船坂 志乃	吉城高校育友会女性部長
学校側	日江井 孝浩	校長
	中田 和美	教頭
	大乗坊 健	事務長
	小原 誠	教務主任
	河野 和代	生徒指導主事
	小澤 耕	進路指導主事
	桐谷 直嗣	特別活動部長
	鈴木 泰輔	キャリア推進部長
	野村 剛志	理数科主任
	関口 祐太	進路支援(株)Edo 代表取締役)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長挨拶

コロナ禍で気の抜けない状況が続く中、1回目は書面だったが、今回は対面で実施できる運びとなり、嬉しく思っている。1回目の書面開催でマニフェストを拝見したが、緻密に作成しており、それを踏まえて特色のあるスクール・ポリシーを作り、ぜひ吉城高校に入学したいと思える内容にしていただきたい。

(2) 出席者自己紹介

(3) 本校の感染対策及び取組の概要説明（学校長）

・感染対策

県の専門家会議の先生からオンラインで全職員が研修を受講し、感染対策について6つの項目について指導があり、それを元に作成した啓発プリントを3年生は9月13日より、1、2年生は9月27日より対面授業を開始した時に生徒に改めて配付した。特に黙食指導と手指消毒については、徹底している。

・取組の概要説明

保護者と生徒対象の学校評価アンケートの結果については、生徒自身が、「本校に入学してよかった」「熱心に指導してくれている先生が多い」など、高い評価をしてきており、ありがたい。コロナ禍ではあるが、全体を通して、生徒の評価は概ね良い評価である。「体罰」の質問項目では否定的意見が0ではない。言葉での叱責も体罰と捉えている場合があり、今後必ず0にしていきたい項目である。保護者対象アンケート結果については「お子様はよろこんで学校に行っている」の項目において9割以上が良い評価であり、ありがたいと思っている。

・その他

修学旅行について昨年度から今年度に延期していた3年生は、実施を断念。2年生は、実施について4分の1の保護者の同意が得られず、来年度4月に順延を決定した。遠足については全学年、今月10月21日に実施予定である。

<質疑応答>

意見1：YCK報告会は地域にとっても大変有意義だと思っているが、現時点で開催予定はあるか。飛騨市美術展はオンラインで実施しており、とても良いものであった。オンラインでの実施も検討するとよい。

→ 一昨年度のように大勢の方（県下一斉）をお招きしての実施は困難だと考えている。会場も押さえているので方法を工夫して実施したい。

意見2：「教育課程」について、校内の委員会内でどのようなことを課題として捉えているか、また生徒をどのように伸ばしていきたいかについて簡単に教えていただきたい。

→ 3つのコースそれぞれの目指すところや方向性を委員で確認した。それを実現するため、教科ごとの目標や授業時間数を検討した。学校設定科目についても来年度入学生が2年次になったときに「地域プロジェクト学習」という科目を設置予定である。現在、短縮版の授業を実施している。その取組を改善し、年間35単位で実施できるよう準備している。

意見3：YCKの取組や来年度以降新規の事項について、どれだけ充実したものにできるかは、普段の教科の授業がどれだけ主体的であるか、どれだけ探究的な深い学びをできるかが基盤になる。普段の授業もそのような視点で改善してほしい。

意見4：先ほどもあったが、YCK報告会については、さまざまなツールがあるので、オンライン等も含めてぜひ実施してほしい。

(4) スクール・ポリシーについて（学校長）

マニフェストとの整合性もとりながら、中学生に分かりやすい表現となるよう、本校の特色が出るよう校内で作成した。職員から意見を出してもらい、特にアドミッション・ポリシーについて検討した。

<質疑応答>

意見5：マニフェストとスクール・ポリシーを比較して考え、吉城高校のこれまでの実績を踏まえると、進学に重きをおいていくとよいと考えている。①SDGsが注目されているので、アドミッション・ポリシーに「継続」という表現が入らないか。②グラデュエーション・ポリシーに「大学」という文言が入らないか。生徒には高い希望を持って取り組んでもらいたい。

意見6：整合性が取れていてよくできているので、十分だと思うが、外部から見るとわかりにくい表現がある。生徒が身につけなければいけないものは何かが明確にわかる「副読本」のようなツールがあるとなおよい。

→ 今年は中学校を訪問することに加え、オープンスクールの機会等を利用して保護者への学校説明等を入念に行ってきた。そのような機会に学校が目指しているもの等を直接お伝えしている。

意見7：吉城高校がどのようなポリシーなのか、他の高校との差異がわかりやすく伝わるものにしてほしい。

意見8：ホームページを拝見した。学校紹介動画を見たが、吉城高校の良いところが凝縮されていて大変素晴らしいものだった。生徒自身がその目線でまとめているので他の委員の方にもぜひ見ていただきたい。

意見9：スクール・ポリシーは、学校の教育活動、生徒はどんな自分になれるのか、地域は学校にどう役立ったら良いのかが分かるという3点が重要である。また、分かりやすいという点でいうと、次の3つのことが重要である。1つ目に上位目標と下位目標を設定すること、2つ目にデザイン等を含めて感覚的に分かりやすい表現であること。3つ目に、文言の重複がないことである。例えばA3の用紙にレイアウトを整えて3点を意識してまとめるとよいのではないか。

→ 形式は県所定の様式があるので変えられないが、HPで詳細を示すことはできるので大いに参考にしたい。

意見10：このスクール・ポリシーは、生徒に浸透させていただきたい。主体性が重視されているのでそこを売りとしてアピールしてほしい。特に、カリキュラム・ポリシーについては、本校がこんな学校だとアピールするポイントなので力を入れて考えてほしい。1つ目の項目は全国どの学校でも同じである。新しい教育課程にある文言をもっと取り入れるとよいのではないか。

また、「進路希望」という表現は、必ずしも入学時に進路希望を持っている生徒がいるとは限らない。進路について相談しながら明確にしていく過程を重視し、この文言の前にそのようなことが分かるような記述があるとよいのではないか。

(5) 連絡事項

- ・ 県立学校体育施設開放について
今年度は、コロナ禍ということもあり、地域から利用の希望はほとんどなかったが、地域からのご要望等を知っている方は、伝えていただきたい。飛騨市教育委員会事務局スポーツ振興課と連携して実施している。
- ・ 校則について
本校としては、地域の方の意見等も取り入れて常に見直しを図っている。何か本校の校則についての情報をもっていれば、教頭まで連絡をいただきたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会において、おもにスクール・ポリシーについて委員から様々な意見を得て議論を行うことができた。学校運営協議会を発端としつつ、協議会以外の場においても今後さらに地域と意見や情報を共有していきたい。第3回学校運営協議会においては、スクール・ポリシーの承認を得られるよう準備を進めていきたい。